

法務文書翻訳のご紹介

コーポレートビジネス営業部では法律事務所や事業会社の法務部から多くの法務文書をご依頼いただいております。



ご依頼実績

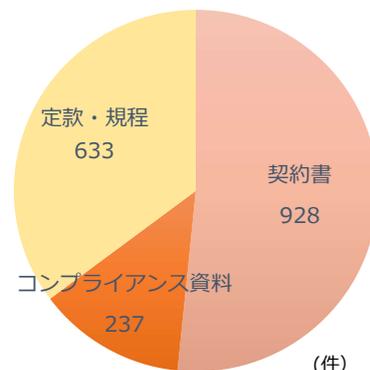
◎ 毎日7社以上のお客様からご依頼いただいております！

法務文書受注件数（2022年度）…1798件

（対象文書：契約書・定款・規程・内部統制資料・コンプライアンス資料）

◎ 法律の専門家からも多数受注（5大法律事務所との取引実績あり）

ご依頼法律事務所数（2022年度）…101事務所



※2022年度コーポレートビジネス営業部実績



契約書をスピーディーに翻訳！

お客様のご都合に合わせて分量の多少にかかわらず、ご希望納期で対応できる作業フローを構築しています。

ケース 1

業種：メーカー
 文書：契約書
 分量：16,000文字
 A4 15ページ程度
 データ形式：WORD
 言語方向：日本語→英語（NC無し）

納期：3営業日（通常7営業日）

参考価格：208,000円（税別）

ケース 2

業種：法律事務所
 文書：契約書
 分量：20,000ワード
 A4 20ページ程度
 データ形式：WORD
 言語方向：英語→日本語

納期：3営業日（通常15営業日）

参考価格：360,000円（税別）

※費用についてはご予算やご希望によりご相談ください

契約書の翻訳作業体制

MT（機械翻訳）

契約書・法務に特化したMT
 （Mirai Translator™）



翻訳者（複数名）

法務領域専門の翻訳者がMT出力結果を編集

なぜMTを利用するのか…

- ✓ MT利用と複数名対応により納期を大幅に短縮*
- ✓ 複数名対応であっても、最初から人手で翻訳を行うよりも表現のバラつきを抑えることが可能
- ✓ 通常納期の場合と同様に専門性の高い翻訳者をアサイン。人手翻訳と同等の品質に仕上げます

* 複数名で翻訳を分担する場合、少なからず翻訳者ごとに表現のばらつきが生じます

※作業体制はあくまで例です。案件の事情やご要望に合わせて最適な方法をご提案いたします。



社内規程の翻訳はアップデート作業までご依頼ください！

社内整備の一環で、社内規程の翻訳、特にコンプライアンスや個人情報に関する社内規程を翻訳される企業が増加しております。

受注件数 2021年度：599件 → 2022年度：633件

海外現地スタッフや国内の外国人社員の戦力強化には、管理体制整備の一環として社内規程の翻訳は必要不可欠です。是非とも翻訳をご検討ください。

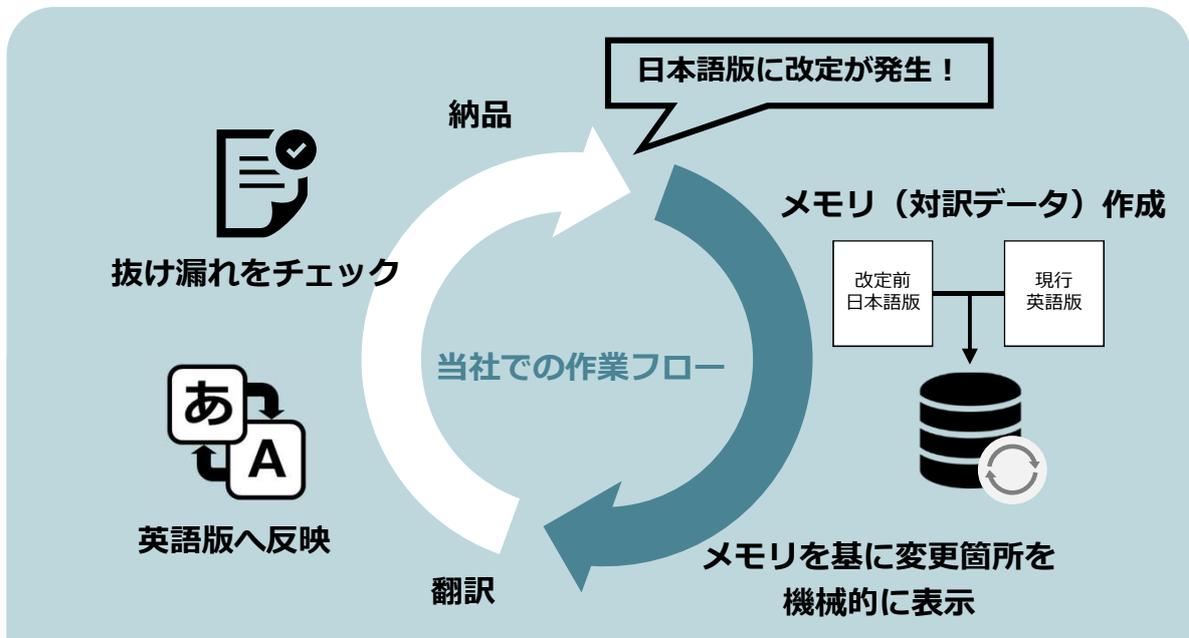
定期的に見直される社内規程は
英語版も都度アップデートが必要です！

(改定前の英語、日本語版の文書をお送りいただければ弊社で確認から翻訳まで実施します)



アップデート作業とは

日本語版に改定が入った際に、現行英語版にもその変更内容を反映させる作業です。



当社にお任せいただければ…

- ✓ 変更のない箇所は既存の表現を残し、現行英語版を参照しながら翻訳するため、過去の英語版と表現が変わることはありません。
- ✓ 用語集やご指定の表現をいただければ、日本語が改定されていない箇所も含め、ファイル全体を通して表現の統一を行います。

社内規程は読み手が正確に理解する必要があります。
版管理や表現の統一を行うことで、読み手の内容理解を深めることができます。



株式会社 翻訳センター
コーポレートビジネス営業部

担当

名前 山本 高士

Email: Yamamoto-t@honyakuctr.co.jp